

平成19年度

年報

ANNUAL REPORT
VOL. 12



島根大学産学連携センター
— 松江地区 —

Collaboration Center, Shimane University

本年報について

本年報は、主に、平成19年度における島根大学産学連携センター松江地区に関する活動についてまとめたものです。

島根大学産学連携センター（松江地区）
平成19年度年報

目次

平成19年度産学連携センターの構成

平成19年度産学連携センター（松江地区）の産学連携活動・・・・・・・・・・ 1

I イベント等

※主催事業

1. 「鳥取・島根発新技術説明会」・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

※後援事業

1. 「21世紀出雲産業見本市2007」・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

※関連事業, 参加イベント

1. 「第2回コラボ産学官学長フォーラム」・・・・・・・・・・・・ 4

2. 「地域イノベーション創出2007 in しまね」・・・・・・・・・・・・ 4

3. 「地域社会問題研究会第18回研究会
ーユビキタスエコノミー下における地域産業創出セミナー
ITと豊かな資源が切り開く地域の未来ー」・・・・・・・・・・・・ 5

4. 「第6回産学官連携推進会議」・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5. 「島根県緑友会通常総会」・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

6. 「第55回全国発明振興会議会」・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

7. 「イノベーションジャパン2007」・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

8. 講演会「島根県西部の産業振興を目指した産官学の取り組み」・・・・・・ 8

9. 「第3回中小企業産学官連携推進フォーラム」・・・・・・・・・・・・ 8

10. 「ACC・コラボ産学官セッション2007」・・・・・・・・・・・・ 9

11. 「平成19年度農工連携に関する産学官意見交換会」・・・・・・・・・・・・ 9

12. 「中国地域産総研技術セミナー&交流会 in 島根」・・・・・・・・・・・・ 10

13. 「中国地域 第2回大学知的財産戦略研修会」・・・・・・・・・・・・ 11

14. 「関東地区産学官連携情報交流会2008」・・・・・・・・・・・・ 12

15. 「国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」・・・・・・・・・・・・ 12

16. 「第29回工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマ2008」・・・・・・・・ 12

17. 「東北地区大学知的財産戦略研修会 産学官連携の戦略的推進と課題」・・・・ 13

18. 「産学官連携懇談会」・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

19. 「TOKYO産学公連携イノベーションフォーラム」・・・・・・・・・・・・ 13

20. 「西条柿利活用研究会発足会」・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

21. 「国際・産学共同研究センター（CCR）最終シンポジウム」・・・・・・・・ 14

22. 「産学公連携による社会人教育のイノベーション」・・・・・・・・・・・・ 15

23. 「岡山産学官連携センター講演会・交流会」・・・・・・・・・・・・ 15

II セミナー等

※主催セミナー

1. 「しまね地域MOTセミナー～中小企業の新事業創出に役立つMOT～」・・・・ 16

2. 「平成19年度島根大学知的財産セミナー／研究者向け外国特許活用セミナー」・ 17

※共催セミナー

1. 「平成19年度廃棄物学会中国四国支部セミナー in 山陰」・・・・・・・・・・・・ 18

2. 「産学連携セミナー～木炭と住環境意を考える～」・・・・・・・・・・・・ 20

III 学内でのセミナー・説明会

1. 「知的財産及び共同研究等に関する説明会：総合理工学部」	2 2
2. 「知的財産及び共同研究等に関する説明会：生物資源科学部」	2 3
3. 「平成19年度島根大学知的財産セミナー 研究者向け外国特許活用セミナー」	2 3
4. 「平成19年度島根大学医学部特許セミナー」	2 4
5. 「競争的研究資金説明会」	2 4
6. 「平成20年度シーズ発掘試験の募集説明会」	2 4

IV他大学との連携

1. 「平成19年度中国・四国地区国立大学法人地域共同研究センター等センター長会議」	2 5
2. 「第19回国立大学法人共同研究センター長等会議」	2 5
3. 「専任教員勉強会」	2 5
4. 「平成19年度西日本ブロック専任教員会議」	2 5

V産学連携センターコーディネートによる助成金採択

1. 「地域イノベーション創出総合支援事業「シーズ発掘試験」	2 6
2. 「平成19年度しまね産学官協働推進事業可能性試験研究テーマ」	2 6

VI実用化事例紹介

1. 「島根大学と島根県内企業との産学官連携による研究・開発から事業化までの事例調査報告書」発行	2 7
2. 「日本経団連の「地域活性化委員会」【報告書：地域経済の活性化を担う地元企業の役割】で、島根県（島根大学）の事例を紹介」	2 7

VII広報活動

1. 「島根大学研究シーズ集：平成19年11月，平成20年3月発行」	2 9
2. 「メール配信」	2 9

平成19年度産学連携センター科学技術相談（地域産業共同研究部門 担当分）	3 3
--------------------------------------	-----

平成19年度共同研究一覧	3 4
--------------	-----

特許

1. 「特許件数」	3 6
2. 「公開特許」	3 6

平成19年度産学連携センター及び産学連携活動に関する報道・主な記事	3 9
-----------------------------------	-----

産学連携センター地域産業共同研究部門 研究設備の紹介	4 3
----------------------------	-----

平成19年度 産学連携センターの構成

職種	氏名 (所属)
センター長	久保 衆伍 (総合理工学部 教授)
副センター長	4月～9月 木下 芳一 (医学部 教授) 10月～3月 森田 栄伸 (医学部 教授)

【地域産業共同研究部門】

職種	氏名 (所属)
部門長	佐藤 利夫 (生物資源科学部 教授)
産学連携マネージャー (共同研究担当)	北村 寿宏 (教授, 専任教員)
産学官連携コーディネーター	糸原 保 (島根県商工労働部産業振興課)

【地域医学共同研究部門】

職種	氏名 (所属)
部門長	4月～9月 木下 芳一 (医学部 教授) 10月～3月 森田 栄伸 (医学部 教授)
産学連携マネージャー (共同研究担当)	中村 守彦 (教授, 専任教員)
産学官連携コーディネーター (共同研究担当)	4月 堀江 修二 (文科省派遣 CD) 7月～3月 宮崎 稔 (文科省派遣 CD)

【連携企画推進部門】

職種	氏名 (所属)
部門長	土屋 敏章 (総合理工学部 教授)
産学連携マネージャー (連携企画担当)	丹生 晃隆 (講師, 専任教員)

【知的財産創活部門】

職種	氏名 (所属)
部門長	久保 衆伍 (総合理工学部 教授)
産学連携マネージャー (知財担当)	阿久戸 敬治 (教授, 専任教員)

【支援スタッフ】

松江地区	福本 彦志, 上田 由美子
出雲地区	山崎 享子, 小村 里美

【客員教授】

氏 名	現 職	担当分野
乾 勉	株式会社ハイメック中国事業所 技術顧問	コーディネート活動
片山 裕之	株式会社創生館 技術顧問	コーディネート活動
堀江 修二	ホリエ サケ・フーズ・アイ 代表	コーディネート活動
小金 民造	K-a r i n 2 1 代表	広域コーディネート活動
中村 俊郎	中村ブレイス株式会社 代表取締役社長	福祉医療
小村 洋司	山陰建設工業株式会社 代表取締役社長	機能性食品
片岡 勝	株式会社プレス・オールターナティブ, 市民バンク 代表	起業支援
出川 通	株式会社テクノ・インテグレーション 代表取締役	MOT教育
吉野 勝美	島根県産業技術センター 所長	コーディネート活動
山崎 幸一	島根県産業技術センター 企画調整 研究調整監	共同研究企画
野田 修司	島根県産業技術センター 新エネルギー応用製品開発プロジェクトチーム プロジェクトマネージャー	共同研究企画
佐藤 公紀	島根県産業技術センター 新機能材料開発プロジェクトチーム プロジェクトマネージャー	共同研究企画
金山 信幸	有限責任事業組合プラズマ技術研究開発センター 代表者	共同研究企画
田辺 義博	田辺特許商標事務所 弁理士	知的財産権関連
中野 睦子	三枝国際特許事務所 弁理士	知的財産権関連
兼久 秀典	独立行政法人工業所有権情報・研修館 大学知的財産管理アドバイザー	知的財産権関連

平成19年度産学連携センター（松江地区）の産学連携活動

I イベント等

※主催事業

1. 「鳥取・島根発 新技術説明会」

日時：平成19年12月7日(金)新技術説明会 10:30～17:30

情報交換会 17:30～18:30

場所：科学技術振興機構 J S Tホール（東京・市ヶ谷）

主催：科学技術振興機構，鳥取大学，島根大学，
鳥取県産業技術センター，島根県産業技術センター

内容：研究シーズを発表，センターの紹介

【概要】

平成19年12月7日(金)に、(独)科学技術振興機構(JST)において、「鳥取・島根発 新技術説明会」を開催した。新技術説明会は、大学、公設研究機関及びJSTの各事業から生まれた研究成果の実用化を促進するために開催されるJSTの事業であり、今回は、島根大学、鳥取大学、島根県産業技術センター、鳥取県産業技術センターと共同で開催し、計10の技術シーズの発表を行い、本学からは3名の教員が説明を行った。

当日は、首都圏を中心に約100名の参加者が集まり、鳥取・島根発の新技術に熱心に耳を傾けられました。また各発表の終了後には、個別相談会を設け、新技術の導入や産業界のニーズへの対応について、担当コーディネーターも交えて熱心な議論が行われた。



■ものづくり分野

- ・新しいタイプの多機能複合材料の開発
—脆性材料の強度と靱性の改善と画期的な電磁波シールド特性—
総合理工学部 和久 芳春 教授



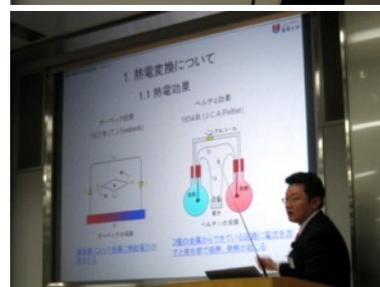
■材料分野

- ・鉛フリーの電子材料の開発
教育学部 秋重 幸邦 教授



■材料分野

- ・高性能化を目指した熱電変換材料の開発
総合理工学部 北川裕之 准教授



※後援事業

1. 「21世紀出雲産業見本市2007」

日時：平成19年11月10日(土)10:00～17:00, 11日(日)10:00～16:00

場所：出雲ドーム（出雲市）

主催：出雲市、「21世紀出雲産業見本市」実行委員会

内容：ブース展示によるセンター紹介，研究シーズ紹介

【概要】

出雲市主催，島根大学産学連携センター等の後援で，新産業創出の機運を盛りあげ，ビジネスチャレンジの契機とすることを目的として開催された。

島根大学では，生物資源科学部複雑系工学研究室，プロジェクト研究推進機構が研究成果の紹介を，産学連携センターが産学連携活動や研究シーズの紹介を行なった。

また併催イベントでは，島根大学医学部の医療セミナーや，研究についてのプレゼンテーションが行われた。



※関連事業

1. 「第2回コラボ産学官学長フォーラム」

日時：平成19年度5月29日(火)13:30～19:30

場所：コラボ産学官 inTOKYO（東京都）

主催：コラボ産学官

内容：当センター小金民造客員教授が参加し、情報交換等を行った。

【概要】

コラボ産学官設立3周年を記念して、8大学の学長による「第2回コラボ学長フォーラム」を開催され、「地域連携，産学官連携，大学間連携により，大学はどう変わり，どう変わろうとしているか？～大学の生き残りをかけた連携戦略を問う～」というテーマでパネルディスカッションが行われた。

2. 「地域イノベーション創出2007 in しまね」

～中国地域産学官・クラスターコラボレーションシンポジウム～

日時：平成19年6月7日(木)13:00～17:40，懇親会 18:00～19:00

8日(金) 9:30～12:30

場所：くにびきメッセ（島根県松江市）

主催：中国地域産学官コラボレーション会議，中国地域産業クラスターフォーラム

内容：産学官連携についてのパネル展示，島根県の取組事例発表

【概要】

中国地域における産学官連携活動を総括するとともに，新事業創出に向けた具体的な展開を図っていくことを目的として，「地域イノベーション創出2007 in しまね」が開催された。

■島根県における産学官連携の取組事例発表

当センターの北村 寿宏 教授が、島根大学における産学連携の現状、企業との共同研究による実用化の事例、産学官連携の今後の課題について、大学側の立場から発表した。

■パネルディスカッション

会場からの質問を中心に、公設試のあり方、中小企業の資源（人、資金）の少なさからのスタート、大学の機能、顧客やライバルなど、今後の産学官連携を推進していく上での課題が討論されました。

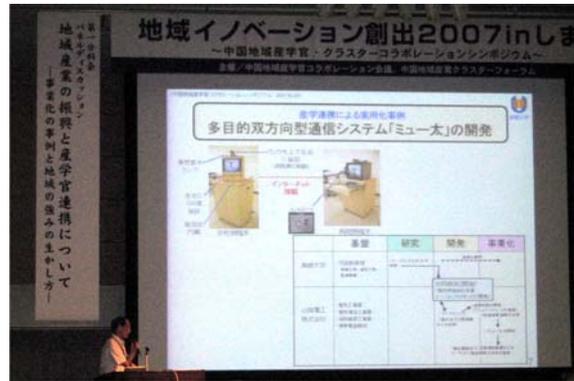
当センターの北村寿宏教授がパネリストを務めた。

■パネル展示

実用の事例や、当センターの紹介をした。



北村 寿宏 教授



3. 「地域社会問題研究会第18回研究会ーユビキタスエコノミー下における地域産業創出セミナー：ITと豊かな資源が切り開く地域の未来ー」

日時：平成19年6月13日（水）14:00～17:00

場所：テクノアークしまね 大会議室（島根県松江市）

主催：島根大学

内容：当センター阿久戸敬治教授が、パネリストとして参加した。

【概要】

- ・ ITC を活用した地域振興の研究成果と制作報告
- ・ JGN II を利用した ITC 活用先進地からのネットセミナー「ユビキタスで開く明日のコミュニティー」
- ・ パネルディスカッション「ユビキタスエコノミーと地域の未来を考える」



4. 「第6回産学官連携推進会議」

日時：平成19年6月16日(土)10:00~20:15

17日(日) 8:30~12:30

場所：国立京都国際会館（京都市）

主催：内閣府，総務省，文部科学省，経済産業省，日本経済団体連合会，
日本学術会議

内容：分科会への参加，情報収集

【概要】

産学官連携の推進を担う第一線のリーダーや実務経験者等が一堂に会し、具体的な課題について、研究協議、情報交換、対話・交流・展示等の機会を設けることにより、イノベーションの創出に向けた産学官連携の新たな展開を図ることを目的に、「第6回産学官連携推進会議」が開催された。

本学からは、プロジェクト研究推進機構重点研究部門の「健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト」と「汽水域の自然・環境再生研究拠点形成プロジェクト」が展示ブースにて研究紹介をした。

また、本センターの教員が各分科会へ参加した。

5. 「島根県緑友会通常総会」

日時：平成19年6月27日(水)15:00~17:30，懇親会 17:30~18:40

場所：ホテル一畑 平安の間（島根県松江市）

主催：商工中金松江支店

内容：センターの紹介，研究シーズの紹介

【概要】

商工中金松江支店の通常総会に於いて、当センターの北村寿宏教授が、「島根大学との産学連携」と題し産学連携について説明をした。

6. 「第55回全国発明振興会議会」

日時：平成19年7月26日(木)13:00～17:30, 懇親会 18:30～19:30

27日(金) 8:30～11:30

場所：松江東急イン（島根県松江市）

主催：島根県, 社団法人発明協会

内容：地域事例発表, センターの紹介

【概要】

本会議は、全国都道府県の科学技術、発明奨励及び知的財産権主管者並びに発明協会本部・支部の代表者が一堂に会し、有識者を交えて研究・討議を行い、地域産業の発展に向けた指針を得るとともに、21世紀における我が国の科学技術の進歩と産業経済の発展に寄与することを目的に開催された。

事例発表では、本センター阿久戸教授が、「地方大学における知的財産の取り扱いについて」と題して、開催地域における事例発表をした。

7. 「イノベーションジャパン2007」

日時：平成19年9月12日(水)～14日(金)10:00～18:00

場所：東京国際フォーラム（東京・有楽町）

主催：科学技術振興機構（JST）

NEDO 技術開発機構（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

内容：島根大学が保有する特許や研究シーズの紹介

【概要】

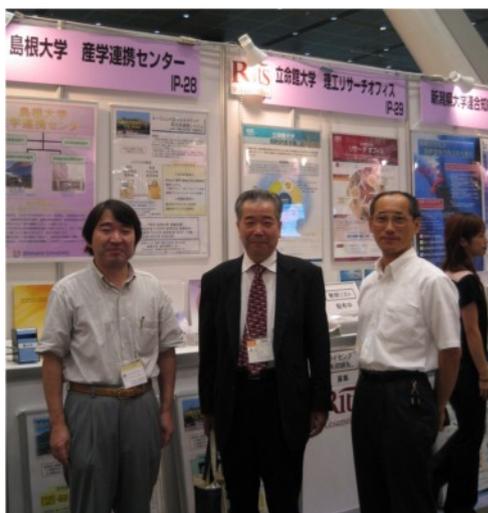
各大学・国公立研究機関・研究室などから、優れた研究成果（新技術）を民間企業を中心に紹介する、「イノベーションジャパン2007－大学見本市」が開催され、4万400人を超える来場者があった。

島根大学からは、総合理工学部 藤田恭久准教授と、産学連携センターが参加した。

藤田恭久 准教授は展示会及び新技術説明会（ナノテク・材料分野）で研究成果の紹介を行い、産学連携センターは展示会で島根大学が保有する特許や研究シーズの紹介等をした。

藤田恭久 准教授は、「Microsoft Innovation Award 2007」ナノテク・材料部門賞を受賞した。





中央：高安 克己 副学長
左側：阿久戸 敬治
産学連携センター教授
右側：北村 寿宏
産学連携センター教授

8. 講演会「島根県西部の産業振興を目指した産官学の取り組み」

日時：平成19年10月19日(金)13:00～17:00

主催：島根大学研究推進機構重点研究部門 汽水域の自然・汽水域の自然・環境再生
研究拠点形成プロジェクト、
島根県、益田市、益田商工会議所

後援：(財)しまね産業振興財団

内容：産学官の取り組み事例や今後の展望を報告

【概要】

この講演会は、島根県西部の産業振興を目的とした開催で、産学官の取り組み事例や今後の展望が報告された。

当センター地域産業共同研究部門長 佐藤利夫 教授が「水とミネラルについてー健康食品産業の支援事業事例として」と題して講演した。

9. 「第3回中小企業産学官連携推進フォーラム」

日時：平成19年10月31日(水)～11月2日(金)13:00～17:00

場所：東京ビックサイト（東京都・有明）

主催：(独)中小企業基盤整備機構

内容：島根大学と島根県内企業との産学連携による成功事例の発表

【概要】

このフォーラムでは、経営の数字（績）が出ている中小企業の産学官連携事例の発表が行われた。

全国から集められた600件を越える事例の中から、当センター北村寿

宏教授の事例が中小企業の事業展開に大きく寄与した成功事例50件に選ばれ、開催2日目となる11月1日(木)に、「建設系廃木材を利用した調湿用木炭「炭八」の開発」と題して、島根大学と島根県内企業との産学連携による成功事例の発表を行った。



10. 「ACC・コラボ産学官セッション2007」

日時：平成19年11月27日(火)16:00～19:00

場所：ラ・ベル・オーラム（東京都台東区）

主催：コラボ産学官

内容：センター紹介

【概要】

第1部	ACC異業種交流会の活動紹介 産学官連携の取組事例紹介 コラボ産学官の活動紹介
第2部	情報交換（兼懇親会）

11. 「平成19年度 農工連携に関する産学官意見交換会」

日時：平成19年12月10日(月)13:15～17:30 意見交換会

17:40～19:00 懇親会

場所：広島県情報プラザ（広島市中区）

主催：中国地域産学官コラボレーションセンター

内容：研究・技術シーズ紹介

【概要】

中国地域産学官コラボレーションセンターでは、中国地域の産業活性化を図る為、地域の産学官連携活動を支援・推進しており、その一環として、農工連携に関する意見交換会が開催された。

本学からは、生物資源科学部の浅尾俊樹教授が「水耕栽培における自家中毒対策について」発表を行った。

「農工連携に関する産学官意見交換会」は、昨年度に続いて今回が2回目の開催であり、当日は、工業技術を導入した新たな農業事例や、農業の生産性向上、省エネ化、高品質化について産学官それぞれの立場から議論が行われた。

特に、水耕栽培手法を用いた大規模施設園芸については、現在既に取り組んでいる企業だけでなく、今後新たに農業参入を計画している企業からも注目度が高く、予定時間終了後も、熱心な意見の交換が行われた。



浅尾 俊樹 教授

先行事例紹介
大学の研究・技術シーズ紹介
・「水耕栽培における自家中毒対策について」 島根大学生物資源科学部 教授 浅尾 俊樹
行政施策の紹介
意見交換

12. 「中国地域産総研技術セミナー&交流会 in 島根」

日時：平成20年1月15日（火）13:00～19:00

場所：テクノアークしまね（島根県）

主催：中国経済産業局，（独）産業技術総合研究所，島根県，
（財）しまね産業振興財団

内容：センターの紹介，研究シーズの紹介

【概要】

(独)産業技術総合研究所(産総研)のマグネシウム合金関連技術,ゼオライト関連技術,及びバイオマス技術等,産総研中国センターにおける研究活動を紹介する「中国地域産総研技術セミナー&交流会 in 島根」が開催された。

開催に併せて,島根県の産学官連携による研究開発事例や,島根県の産業振興施策を紹介するポスター展示があり,産学連携センターでは,センター及び研究シーズの紹介を行った。



13. 「中国地域 第2回大学知的財産戦略研修会」

日時：平成20年1月25日(金)13:00～17:30

場所：広島ガーデンパレス(広島市東区光町)

主催：文部科学省,国立大学法人広島大学

内容：各大学の知的財産関係部門の体制や仕組みの整備状況等を発表

【概要】

各大学の知的財産関係部門から体制や仕組みの整備状況,知財発掘・権利化・活用の実績,教育・人材育成への取組みやこれからの展望について発表し,今後のさらなる機能強化や大学間の連携などの展開につなげることを目的に開催された。

「中国地域国立大学法人のこれまでの活動と今後の展望」と題したパネルディスカッションが行われ,本センター阿久戸教授がパネリストを務めた。

14. 「関東地区産学官連携情報交流会2008」

日時：平成20年1月31日(木)13:00～18:30

場所：明治大学アカデミーコモン（東京都千代田区）

内容：文部科学省の所管事業の「産学官連携活動高度化促進事業」のもと、関東地方の大学・大学共同利用機関・高等専門学校に配置された産学官連携コーディネーターの活動紹介及び産学官連携の関係者との幅広い議論と情報交換が行われ、当センター小金民造客員教授が参加した。

15. 「国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」

日時：平成20年2月13日(水)10:00～18:00

14日(木)10:00～18:00

15日(金)10:00～17:00

場所：東京ビッグサイト（東京都・有明）

主催：nano tech実行委員会

内容：本年で7回目を迎えるnano tech2008 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議に、本学からはS-ナノプロジェクトが出展し、本センター発行の研究シーズ集及びパンフレットを配布した。

16. 「第29回工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマ2008」

日時：平成20年2月13日(水), 14(木), 15(金)15:00～17:00

場所：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

主催：社団法人神奈川県産業貿易振興協会, 社団法人横浜市工業会連合会,
神奈川県, 横浜市

内容：神奈川県下最大の工業技術・製品に関する総合見本市。

「世界にはばたくオンリーワン技術」をテーマにビジネスソリューション, 生産, 生活・環境, 異業種交流等のグループ, 産学公連携の各分野別に展示が行われ、当センター小金民造客員教授が参加した。

【概要】

産学連携ワークショップは、地域発技術シーズ発表会（2月13日）と出展大学・ベンチャーによる先端研究プレゼンテーション（2月14日, 15日）が開催された。

今回、理工系大学の講師陣による研究シーズの発表の場である地域発技術シーズ発表会に参加した。首都圏の大学に配置されたコーディネーターが目利きした6大学と2試験研究機関の10テーマが発表され、「小径管内部メ

メンテナンス用移動ロボットの開発」(電気通信大学共同研究センター田口幹准教授による講演)やJST紹介など聴講をした。

産学公連携分野では、首都圏以外から広島大学(東京リエゾンオフィス)と静岡大学が出展していた。

17. 「東北地区大学知的財産戦略研修会 産学官連携の戦略的推進と課題」

日時：平成20年2月21日(木) 13:00~18:00

場所：仙台ホテル3階青葉の間

主催：文部科学省，国立大学法人東北大学

内容：当センター小金民造客員教授が参加した。

18. 「産学官連携懇談会」

日時：平成20年3月4日(火) 16:00~

場所：カラコロ工房3階 第1教室

主催：松江商工会議所

内容：「MOT(技術経営)」，「研究シーズ」についてスピーチを行った。

【概要】

当センター北村 寿宏 教授が「MOTについて」，丹生 晃隆 講師が「島根大学の研究シーズについて」紹介した。

19. 「TOKYO産学公連携イノベーションフォーラム」

日時：平成20年3月7日(金) 10:30~18:30

場所：東京商工会議所ビル7階 国際会議場

主催：東京商工会議所

【概要】

東京商工会議所主催で，産学公連携による中小企業のイノベーションの実現を提案するフォーラムが開催された。

基調講演，パネルディスカッション，セミナーが行われる中，産学公連携相談会，大学・研究機関マッチングブースが設けられ，当センターは，コラボ産学官の展示ブースに於いて，当センターパンフレットを配布した。

20. 「西条柿利活用研究会発足会」

日時：平成20年3月14日（金）15:00～17:00

場所：浜田合同庁舎中会議室

内容：「西条柿」を利用し、食品業界、大学、県立試験研究機関等の連携により、更なる高度利用及び新製品、新技術の開発を目的として「西条柿利活用研究会」が設立された。当センターからは、丹生晃隆講師が参加した。

【概要】

平成20年3月14日に、浜田合同庁舎にて「西条柿利活用研究会発足会」が開催され、本学生物資源科学部の板村裕之教授が、基調講演「西条柿利用の今後の展望」を行った。

この研究会は、産学官の連携により、西条柿の高度利用及び西条柿を用いた新製品、新技術の開発を目的に設立され、今回は約40名が集まり、今後の利活用について熱心な意見交換が行われた。

研究会の役員として、石見食品株式会社の石田和通人社長が会長に、有限会社クボタ牛乳の久保田英治社長が副会長に選出された。

今回の発足会を経て、第1回研究会が5月に開催される予定。



板村 裕之 教授



21. 「国際・産学共同研究センター（CCR）最終シンポジウム」

日時：平成20年3月17日（月）13:00～19:00

会場：東京大学駒場Ⅱキャンパス An棟2階

内容：当センター小金民造客員教授が参加した。

【概要】

「東京大学の産学連携とCCRの果たした役割」と題し、東京大学国際・産学共同研究センター（CCR）最終シンポジウムが開催され、約280名が参加した。

22. 「産学公連携による社会人教育のイノベーション」

世界に挑む実装技術者の育成を目指して
企業OB参画による新たな社会人教育モデルの構築
実装（J I S S O）スクール紹介セミナー」

日時：平成20年3月21日（金）13:00～17:00

会場：横浜国際ホテル

主催：特定非営利活動法人YUVEC,
よこはま高度実装技術コンソーシアム（YJC）

内容：当センター小金民像客員教授が参加した。

【概要】

よこはま高度実装技術コンソーシアム（YJC）では、『J I S S Oスクール』と題した実装基礎を学ぶ教育システムを過去2年間開講。

このセミナーでは、平成20年度に開講されるコース（基礎コース、実習コース、深掘コース、入門コース）の紹介と、実装技術者育成についての意見の交換がされ、約50名が参加した。

23. 「岡山産学官連携センター 講演会・交流会」

日時：平成20年3月28日（金）16:00～17:00 交流会 17:15～18:30

会場：ピュアリティまきび飛翔（岡山市）

内容：当センター北村寿宏教授が「中小企業の新事業創出と産学連携～その現状と課題」と題した講演をした。

II セミナー

※主催セミナー

1. 「しまね地域MOTセミナー～中小企業の新事業創出に役立つMOT～」

日時：平成19年 9月18日(火)13:30～16:30

12月 4日(月)10:30～16:30

会場：島根大学総合理工学部1号館 8F 第3会議室（松江キャンパス）

主催：(財)しまね産業振興財団，島根大学産学連携センター

共催：島根県，松江工業高等専門学校

【プログラム】

第1回（講義）MOTについて「MOTって何？本当に役に立つの？」

- ・産学連携による新事業創出の事例とMOT
北村 寿宏 （島根大学産学連携センター教授）
- ・MOT概論「MOTって何？中小企業の新事業創出に役立つMOT」
出川 通 氏 ((株)テクノ・インテグレーション代表取締役)
(島根大学客員教授)



出川 通 氏



北村 寿宏 教授



第2回（演習）ケーススタディ

- ・MOTの復習
- ・事例紹介
- ・グループ討議によるMOTの模擬体験

出川 通 氏（(株)テクノ・インテグレーション代表取締役）
（島根大学客員教授）



2. 「平成19年度島根大学知的財産セミナー/研究者向け外国特許活用セミナー」

日時：平成19年12月26日（水）14:00～16:00

会場：島根大学総合理工学部3号館2F多目的ホール

主催：島根大学産学連携センター

【概要・カリキュラム】

青山特許事務所 竹内三喜夫 弁理士をお招きして、研究者もしくは事務管理者の方々に、外国で特許を取得、あるいは取得することを検討するに当たって必要となる基本事項を習得いただく「研究者向け外国特許活用セミナー」を開催した。

講師：青山特許事務所 竹内 三喜夫 弁理士		
1	パリ条約	<ul style="list-style-type: none">・特許独立の原則・内国民待遇の原則・優先権制度
2	PCT（国際出願）	<ul style="list-style-type: none">・国際出願・国際調査報告、国際予備審査・国内移行
3	主要国の特許制度	<ul style="list-style-type: none">・米国・ヨーロッパ（EP）・アジア（韓国、中国）
4	権利化までの費用	<ul style="list-style-type: none">・発明完成から出願、中間手続、年金まで



青山特許事務所
竹内 三喜夫 弁理士

※共催セミナー

1. 「平成19年度廃棄物学会中国四国支部セミナー in 山陰」

日時：平成20年2月29日（金）13:00～19:00

会場：くにびきメッセ5F 501大会議室（島根県松江市）

主催：廃棄物学会中国四国支部

共催：島根大学産学連携センター，島根大学プロジェクト研究推進機構

後援：（財）しまね産業振興財団，島根県

【概要・プログラム】

廃棄物学会中国四国支部では，平成19年度廃棄物学会中国四国支部セミナー in 山陰を島根県松江市に於いて開催した。

今回は「水環境の保全・修復と資源循環型技術」と題したセミナーで，島根大学における，水環境や水質浄化技術に関するこれまでの研究成果や実用化に向けた取り組み，水環境の保全修復と資源循環型技術の考え方，この分野における地域に必要な人事育成の取り組みなど，幅広い視点から紹介が行われた。

当日は，50名を超える参加者が集まり，活発な意見交換もあり，大変盛況でした。また，地元企業や行政関係者などが多数参加され，大学での取り組みや今後大学と連携していく上での良いきっかけが作れたと思われまます。そして，山陰では会員が少ない廃棄物学会の紹介にもつながった。

今後もこのようなセミナーを続け，大学と社会との連携を進めるきっかけ作りを行っていききたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・開会の挨拶 島根大学産学連携センター 北村 寿宏 教授 ・主催者挨拶 廃棄物学会中国四国支部長, 岡山大学 青山 勲 氏 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「汽水域の自然・環境再生研究拠点形成プロジェクトと本日の演題について」 島根大学生物資源科学部 野中 資博 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「機能性無機材料による排水からのリン除去・回収・再資源化システムの確立」 島根大学生物資源科学部, 産学連携センター 佐藤 利夫 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「環境保全・資源循環型機能性コンクリートの開発」 島根大学生物資源科学部 野中 資博 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「中海浚渫底泥と下水汚泥の改質と再利用」 島根大学生物資源科学部 増永 二之 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「木材からの吸着用木炭の製造技術の確立とその利用」 島根大学産学連携センター 北村 寿宏 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「石材の循環利用と水環境」 島根大学総合理工学部 石賀 裕明 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「環境管理・地域資源活用人材養成ユニット」の紹介 島根大学生物資源科学部 森 也寸志 准教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・閉会の挨拶 島根大学生物資源科学部, 産学連携センター 佐藤 利夫 教授 	
<ul style="list-style-type: none"> ・交流会 	



2. 「産学連携セミナー～木炭と住環境意を考える～」

日時：平成20年3月16日(日)

会場：出雲会場 ラピタウエディングパレス 3F 寿輝の間 10:00～12:00

松江会場 くにびきメッセ 3F 国際会議場 14:00～16:00

主催：炭八しまねの会，島根大学産学連携センター

【概要・プログラム】

島根大学との共同研究から事業化に成功した事例である調湿用木炭「炭八」について、これまでの共同研究の成果の一部を紹介した。

主催者挨拶	島根大学産学連携センター 北村 寿宏 教授
第一部・講演	<p>「アトピー性皮膚炎・その原因と改善方法」 島根大学医学部 皮膚科 森田 栄伸 教授</p> <p>これまでの研究からわかったアトピー性皮膚炎の原因とその対策についてわかりやすく解説した。</p> <p>アトピー性皮膚炎は、角層脂質層の不具合による皮膚のバリア障害とアレルゲンによる過剰反応（アレルギー）により引き起こされる。角層脂質層の修復にはスキンケアが重要であること、アレルゲンの低減には環境改善が大きな効果を示すことを指摘した。</p> <p>共同研究の成果として、調湿木炭「炭八」を住環境で用いることで、環境が改善されアレルゲンを低下できることが明らかになってきた。</p> 

<p>第二部・講演</p>	<p>「木炭敷設による床下環境の改善」 島根大学総合理工学部 中井 毅尚 准教授</p> <p>日本の住宅の現状を紹介し、床下環境の多湿化が進んでいること、住宅の長寿命化の観点から、床下環境の改善が必要であることを指摘した。</p> <p>床下に調湿木炭「炭八」を敷設することで、床下の湿度を調整することが可能で、夏場は床下の多湿化を抑制し、冬場は過乾燥を防ぐ効果があり、床下環境を改善できることが明らかになったことを示した。</p> 
<p>第三部・講演</p>	<p>「産学共同研究から学んだ健康と住環境」 出雲カーボン株式会社 代表取締役 石飛 裕司 氏</p>  <p>炭八の着想から実用化まで、研究開発の取り組み経緯を紹介した。</p> <p>日本の住宅、特に、山陰地方の住環境は、湿度に関して改善が必要になってきた。木炭の製造、製品の性能、木炭を住環境や住宅床下に敷設したときの効果を大学との共同研究で明らかにし、調湿木炭「炭八」の商品化に成功したことを説明した。</p>



Ⅲ 学内でのセミナー・説明会

1. 「知的財産及び共同研究等に関する説明会」

日時：平成19年6月20日(水)

場所：総合理工学部3号館

【プログラム】

1	「島根大学における発明等の取り扱いについて」 産学連携センター 阿久戸 敬治
	・職務発明規定について（届出の義務） ・発明等の対価としての補償金制度 ・特許出願費用等の免除に関する経過措置と年度内出願の勧め ・卒論発表会等における知的財産の取扱いについて （特許法第30条適用のリスク）
2	「島根大学の産学連携の実状について」 産学連携センター 北村 寿宏
	・産学連携の意義 ・島根大学の産学連携の実状 ・今後の展開とご協力をお願い
3	「共同研究・受託研究を進めるに際しての留意事項について」 学術国際部研究協力課産学連携支援グループ 藤原 高博
	・受託研究受入についての注意事項について ・新たに共同研究，受託研究を行う場合について
4	おわりに 産学連携センター長 久保 衆伍

2. 「知的財産及び共同研究等に関する説明会」

日時：平成19年7月25日(水)

場所：生物資源科学部1号館2会 教授会場（松江キャンパス）

【プログラム】

1	「島根大学における発明等の取り扱いについて」 産学連携センター 阿久戸 敬治
	<ul style="list-style-type: none"> ・職務発明規定について（届出の義務） ・発明等の対価としての補償金制度 ・特許出願費用等の免除に関する経過措置と年度内出願の勧め ・卒論発表会等における知的財産の取扱いについて （特許法第30条適用のリスク）
2	「共同研究・受託研究を進めるに際しての留意事項について」 学術国際部研究協力課産学連携支援グループ 藤原 高博
	<ul style="list-style-type: none"> ・受託研究受入についての注意事項について ・新たに共同研究，受託研究を行う場合について
3	「島根大学の産学連携の実状について」 産学連携センター長 久保 衆伍
	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携の意義 ・島根大学の産学連携の実状 ・今後の展開とご協力のお願ひ ・おわりに

3. 「平成19年度島根大学知的財産セミナー 研究者向け外国特許活用セミナー」

日時：平成19年10月16日(火)16:00～17:00

会場：島根大学産学連携センター（松江キャンパス）

【プログラム】

「大学知財，産学公連携におけるリスク管理」 佐田 洋一郎 氏（山口大学教授・知的財産本部長）
<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究発表の際の注意点（特許法29条，30条問題） 2. 大学特有の発明者認定の問題点 3. 発明者と出願人 4. 共同研究等での特許取扱いの問題点 （混同しやすい共同発明と利用発明）
知財実務者意見交換
本学で困っている問題などを中心に意見交換。

4. 「平成19年度島根大学医学部特許セミナー」

日時：平成19年11月17日(土) 9:00～15:00

場所：島根大学産学連携センター（出雲キャンパス）

【プログラム】

・島根大学の共同研究, 知的財産の取扱	産学連携センター 阿久戸 敬治 研究協力課 藤原 高博
・特許セミナー(基礎編)	三枝国際特許事務所 弁理士 中野 睦子 氏 (社)発明協会広島支部 参与 坂本 重道 氏
・特許セミナー(応用編)	
・個別相談	

5. 「競争的研究資金説明会」

日時：平成19年11月21日(水) 15:00～16:00

場所：総合理工学部3号館 2F 多目的ホール（松江キャンパス）

【プログラム】

・「競争的研究資金の仕組みとNEDO申請のポイント」 講師：橋本 志朗 氏 ((株)島津製作所 東京支社 官庁大学本部 産学官プロジェクト推進室)
・平成20年度JST「シーズ発掘試験」公募情報

6. 「平成20年度シーズ発掘試験の募集説明会」

〈松江キャンパス〉

日時：平成20年2月6日(木) 10:30～12:00

場所：総合理工学部3号館2階多目的ホール

〈出雲キャンパス〉

日時：平成20年2月5日(水) 15:00～16:30

場所：産学連携センター地域医学共同研究部門4階会議室

IV 他大学との連携

1. 「平成19年度中国・四国地区国立大学法人地域共同研究センター等センター長会議」

日時：平成19年7月19日(木)14:00～17:30

場所：対翠閣（鳥取県鳥取市）

内容：久保衆伍センター長が参加した。

2. 「第19回国立大学法人共同研究センター長等会議」

日時：平成19年10月18日(木)13:30～19:00

19日(金) 9:30～11:30

場所：新潟グランドホテル（新潟県中央区）

内容：久保衆伍センター長が参加した。

3. 「専任教員勉強会」

日時：平成20年1月18日(金)11:00～18:00

場所：コラボ産学官 6階会議室（東京都江戸川区）

内容：これからの産学官連携・地域連携について。

当センター，北村寿宏教授，小金民造客員教授が参加した。

【概要】

第1部	産学連携と顧客満足度について
第2部	地域における知的財産の管理・活用について
第3部	産学連携と学生との関係について

【参加大学】

- ・弘前大学
- ・山形大学
- ・電気通信大学
- ・新潟大学
- ・和歌山大学
- ・徳島大学
- ・長崎大学
- ・島根大学

4. 「平成19年度西日本ブロック専任教員会議」

日時：平成20年3月6日(木) 14:00～17:30

場所：国立大学法人和歌山大学地域共同研究センター1階 多目的研究室

内容：当センターからは，北村寿宏教授，丹生晃隆講師，小金民造客員教授が参加した。

V 産学連携センターコーディネートによる助成金採択

1. 「地域イノベーション創出総合支援事業 シーズ発掘試験」

公募機関：独立行政法人科学技術振興機構

研究課題	研究者	コーディネーター
下水汚泥の有効利用による海岸砂地からの飛砂防止植生導入技術の開発	総合理工学部 増永 二之 教授	産学連携センター 糸原 保
高効率低ノイズ化実現可能なスイッチング電源の開発	総合理工学部 山本 真義 講師	産学連携センター 丹生 晃隆 講師
長期治療患者のための受診タイミング自己管理システムの開発と実地評価	総合理工学部 平川 正人 教授	産学連携センター 丹生 晃隆 講師
半導体ナノ粒子を用いた高輝度エレクトロルミネッセンスパネルの開発	総合理工学部 藤田 恭久 教授	産学連携センター 北村 寿宏 教授
移植骨を精密加工するフライス盤の実用性試験	医学部 森 隆治 准教授	産学連携センター 中村 守彦 教授
酸化亜鉛（ZnO）ナノ微粒子による癌診断の技術開発	産学連携センター 中村 守彦 教授	産学連携センター 北村 寿宏 教授

2. 「平成19年度しまね産学官協働推進事業可能性試験研究テーマ」

公募機関：財団法人しまね産業振興財団

研究課題
ゼオライト単結晶基板上への新規チタン酸バリウム薄膜の作製と機能性評価
エゴマ油の機能性（特に脳機能改善効果）の検証 — “陸の魚” を目指した商品開発 —
省エネルギー化を目的としたトンネル照明用LEDの天候による輝度制御
中産間地用畦畔草刈りロボットの開発
Ti系酸化物機能性薄膜応用のための製造方法に関する研究
匠の技のデータベース化による高糖度施設園芸作物づくりの実現

Ⅲ 実用化事例紹介

1. 「島根大学と島根県内企業との産学官連携による研究・開発から事業化までの事例調査報告書」発行

産学官連携が本格的にスタートし、様々な企業と大学などで連携が進んでいる。産学官連携活動の大きな目的の一つは、大学と企業とが連携して社会の課題の解決やニーズに応え新しい事業やイノベーションを創出していくこと、あるいは、大学での研究成果を企業と協力して実用化し社会に役立てていくことであると考えられる。

そこで、島根県内の企業と島根大学との産学官連携により、研究・開発から事業化に至った事例の調査を行った。

今回の調査は、新商品やサービスのアイデアはどのように生まれたのか、どのようにして企業と島根大学との連携がスタートしたのか、製品が完成するまでどのような経緯をたどったのかなど、中小企業と大学との連携が始まり実用化に至るまでの流れを明らかにすることを目的とした。また、そのような流れを明らかにする過程で、産学官連携により実用化を進める上でのキーポイントを抽出することを試みた。

この報告書では、弊学との共同研究で実用化された4事例の詳細をまとめた。



2. 「日本経団連の「地域活性化委員会」【報告書：地域経済の活性化を担う地元企業の役割】で、島根県（島根大学）の事例を紹介」

(7) 産学官の連携 —島根県の事例—より

地域活性化の手段として、産学官の連携がその一つとして考えられる。「学」は研究開発によるシーズの提供やコンサルティング等の専門的側面からの支援を、「官」は意識高揚や連携・協調を促す社会基盤構築支援を、そして、「産」はその社会基盤を土台に、「学」の提供したシーズを市場のニーズとリンクさせることで、生産・販売活動を実施して付加価値を産む。産学官連携の事例として、島根大学の取り組みを紹介する。

島根大学では年間約100件の企業との共同研究がなされており、共同研究の相手先には中小企業や県内の企業が多いことが特徴として挙げられる（2003年度実績でいずれも約6割）。中小企業は産学連携の面においても資金・人材等の経営資源が限られており、また開発段階、事業化段階で連携を行なえる能力が不足している等、課題が多い。そうした中、島根大学では地域産業の活性化、さらには地域イノベーションを創出すべく、産学連携に取り組んでいる。

大学側が基礎研究を中心とした産学連携を期待・実行しているのに対し、中小企業では、開発・事業化を期待しており、活動領域が重ならず連携が困難になっている。このため、まずニーズ先行型の研究開発を促進するよう、学が産の側に歩み寄り、活動を展開している。産学連携により事業化した成功事例を紹介したり、研究開発・事業化フローマップを作成する等、中小企業と大学間の心理的な壁を無くすための取り組みがなされている。

また、研究から事業化までのステップを理解し、全体を俯瞰して各段階をマネジメントする能力を持った人材を育成するため、MOT（＝技術経営：技術が持つ可能性を見極めて事業に結び付け、経済的価値を創出していくマネジメント）教育も実施されている。MOT教育は講義形式のセミナーに加え、ケーススタディを通じたグループ討議によるMOTの模擬体験の形式となっており、より実践的な人材の育成が目的とされている。

2004年10月には「産学連携センター」が設立された。産学連携センターは地域産業共同研究、地域医学共同研究など4つの部門で構成されており、医学系に産学連携の専任教員を配置していること、そして産学連携のリエゾン活動から知財の活用までを一つの組織で推進していることを特徴としている。主な活動内容として、(1)冊子等による情報提供や交流会の場を設定する等の、大学と企業との情報交換・人的交流をすすめるリエゾン活動、(2)科学技術相談の実施、(3)ニーズ＝シーズマッチングによる共同研究の企画・推進や、都市エリア事業、コンソーシアム事業などの研究プロジェクトの企画・提案・獲得支援、(4)特許などの知的財産の創出と活用、などがある。産学連携の入り口である情報提供・交流活動から、共同研究、研究成果の保護、実用化支援という出口まで、きめ細やかな支援を行なうべく活動が展開されている。

VI 広報活動

1. 「島根大学研究シーズ集追加行：平成19年11月，平成20年3月」

研究成果を何に利用できそうかという視点で，産業界の方々に島根大学で行っている研究内容をわかりやすく紹介する目的で，平成18年度に島根大学研究シーズ集を作成した。

今年度は2度追加作成し，同時にWeb上にも掲載した。

発行月	研究者	研究シーズのテーマ
11月	総合理工学部：山本 真義	高効率・低ノイズ化実現可能なスイッチング電源の開発
11月	総合理工学部：和久 芳春	新しい複合材料メタセラの開発
11月	総合理工学部：北川 裕之	高性能化を目指した熱電変換材料の開発
3月	医学部：大谷 浩	汎用的高感度ELISAキット
3月	総合理工学部：森谷 明弘	フラット型ディスプレイ，照明を実現するフィールドエミッタの開発
3月	総合理工学部：谷口 隆雄	冗長マニピュレータを用いた協調制御技術の開発
3月	生物資源科学部：秋吉 英雄	細胞・組織情報のイメージ化技術とその応用
3月	汽水域研究センター：荒西 太士	DNAテクノロジーを活用した食品トレーサビリティシステム

2. 「メール配信」

※ 産学連携センター主催・共催・後援事業等

配信日	配信先	題名	内容
4/5	センターNEWS(学外宛) 松江地区全教職員	新しい島根大学研究シーズ集について	
5/14	松江地区全教員	『イノベーションジャパン2007 大学見本市』出展者，新技術説明会の 参加者募集について	
5/29	松江地区全教職員	地域イノベーション創出2007 in しまね (H19.6.7,8開催)	北村教員：事例発表
8/17	松江地区全教職員 センターNEWS(学生宛) センターNEWS(学外)	「しまね地域MOTセミナー」開催 (H19.9.18,12.3開催)	産学連携センター， (財)しまね産業振興 財団：主催
8/24	松江地区全教職員 センターNEWS(学外)	「イノベーションジャパン2007」開催 (H19.9.12,13,14開催)	藤田恭久教員，産学連 携センター：ブース展 示

8/31	松江地区全教員	「21世紀出雲産業見本市2007」 出展募集 (H19. 11. 10, 11 開催)	出雲市：主催, 産学連携センター:後 援
10/12	センターNEWS(学外)	『第3回中小企業産学官連携推進フ ォーラム』開催のご案内 (H19. 10. 31-11/2 開催)	(独)中小企業基盤整 備機構：主催
10/16	センターNEWS(学外) 松江地区全教職員	「木炭と住環境を考える産学連携セ ミナー」開催 (H19. 10. 21 開催)	炭八しまねの会,産学 連携センター地域医 学共同研究部門:共同 開催
10/29	センターNEWS(学外)	「21世紀出雲産業見本市2007」 開催のご案内(h19. 11. 10, 11 開催)	出雲市：主催 産学連携センター:後 援
11/ 5	センターNEWS(学外) 松江地区全教職員	「鳥取・島根発 新技術説明会」開催 (H19. 12. 7 開催)	鳥取大学, 島根大学, 島根県産業技術セン ター, J S T : 主催
11/ 7	松江地区全教員	「競争的研究資金説明会」開催につい て (H19. 11. 21 開催)	産学連携センター ：主催
11/26	センターNEWS(学外)	「平成19年度 農工連携に関する産 学官意見交換会」 (H19. 12. 10 開催)	中国地域産学官コラ ボレーションセンタ ー：主催
12/12	松江地区全教職員 センターNEWS(学生)	「平成19年度 島根大学 知的財産 セミナー」開催について (H19. 12. 26 開催)	産学連携センター, 特 許庁, 中国経済産業局 ：主催
12/25	松江地区全教職員 センターNEWS(学生)	【再送】「平成19年度 島根大学 知 的財産セミナー開催について (H19. 12. 26 開催)	産学連携センター, 特 許庁, 中国経済産業局 ：主催
1/ 9	松江地区全教職員	「中国地域産総研技術セミナー&交流 会 i n 島根」開催について (H20. 1. 8 開催)	中国経済産業局, 産総 研, 島根県, しまね産 業振興財団：主催
1/28	松江地区全教職員	「平成19年度廃棄物学会中国四国 支部セミナー i n 山陰」開催について (H20. 1. 28 開催)	廃棄物学会中国四国 支部：主催, 産学連携センター, プ ロジェクト研究推進 機構：共催

※関連機関主催等

配信日	配信先	題名	内容
5/16	センターNEWS(学生宛) 松江地区全教職員	知的財産戦略セミナー2007(基礎編)(H19.5.23,24)	島根県：主催
5/31	松江地区全教職員	新産業創出プロジェクト研究成果説明会	島根県：主催
7/4	松江地区全教職員	「第2回モノづくり連携大賞」応募のご案内	日刊工業新聞社
7/4	松江地区全教職員	「2007産学官技術交流フェア」への出展者募集	日刊工業新聞社
7/26	松江地区全教職員	H19食品製造業技術力・経営力革新セミナー(第3回)開催のご案内	島根県：主催
7/27	センターNEWS(学内宛)	フェムト秒レーザーセミナー開催のご案内	しまね産業振興財団：主催
8/1	センターNEWS(学生宛) 松江地区全教職員	知的財産戦略セミナー2007～変革の時代を生き抜くために(H19.8.29)	島根県,しまね知的財産総合支援センター：主催
8/10	センターNEWS(学生宛) 松江地区全教職員	知的財産戦略セミナー2007～変革の時代を生き抜くために(H19.8.29)中止	島根県,しまね知的財産総合支援センター：主催
8/20	センターNEWS(学生宛) 松江地区全教職員	平成19年度 知的財産権制度説明会【初心者向け】開催のご案内	特許庁,(社)発明協会 島根支部：主催
9/11	松江地区全教職員	島根のモノづくりセミナー開催について	機械振興協会経済研究所：主催
9/19	センターNEWS(学生宛) 松江地区全教職員	知的財産戦略セミナー2007 「研究者向けセミナー」(H19.10.3～全3回) 「経営者・知財管理者向けセミナー」(H19.10.17～全3回)	中国経済産業局：主催
10/5	センターNEWS(学生宛) 松江地区全教職員	知的財産戦略セミナー2007～変革の時代を生き抜くために(H19.11.2)	島根県,しまね知的財産総合支援センター：主催
10/11	センターNEWS(学外宛)	中小企業支援担当者向けセミナー 中小企業への知的財産の戦略的支援 「知的財産戦略マニュアル2006にみる中小・ベンチャー企業における知的財産戦略の実際」(H19.10.18)	中国経済産業局：主催

10/17	松江地区全教職員	「農業ロボット（機械化）に関するシンポジウム」開催について (H19.11.7)	しまね産業振興財団：主催
11/27	松江地区全教職員	「知的財産戦略セミナー2007～日本から世界市場へ～大ヒット商品に学ぶ知財戦略～」開催について (H19.12.5)	島根県, しまね知的財産総合支援センター：主催
12/6	松江地区全教職員	「しまねロボット技術研究会」セミナー開催について(H19.12.17)	しまね産業振興財団, 発明協会, しまね知的財産総合支援センター：主催

※助成金情報

配信日	配信先	題名	内容
1/18	松江地区全教職員	平成19年度「シーズ発掘試験」の募集について	JST公募
2/27	松江地区全教職員	平成19年度「シーズ発掘試験」の募集について【再送】	JST公募
3/30	松江地区全教職員	平成19年度しまね産学官協働推進事業可能性試験研究テーマの募集について	しまね産業振興財団公募
9/10	松江地区全教職員	平成19年度しまね産学官協働推進事業可能性試験研究テーマの追加募集について	しまね産業振興財団公募
1/17	松江地区全教職員	平成20年度「シーズ発掘試験」の募集について	JST公募

※科学技術相談の対応者募集

配信日	配信先	題名
9/3	センターNEWS(学内宛)	科学技術相談の対応のお願い

**平成19年度科学技術相談
(地域産業共同研究部門の担当分)**

地域に開かれた大学の窓口として、大学の持つ専門知識や研究成果を地域に還元し、その発展に寄与するために、科学技術の相談等に無料で応じています。

平成19年のご利用は、下記のとおりです。

平成19年度の科学技術相談の相談件数 : 99件
(地域産業共同研究部門の担当分)

内 島根県内 74件
 県外 25件

対応組織別

法文学部	0件
教育学部	5件
総合理工学部	7件
生物資源科学部	30件
産学連携センター	49件
その他	8件

平成19年度 共同研究一覧 (85 件)

学部等	研究代表者	分野
教育学部 (3件)	准教授 作野 広和	社会基盤
	教授 高橋 哲也	製造技術
	教授 秋重 幸邦	ナノテクノロジー・材料
医学部 (15件)	准教授 橋本 道男	ライフサイエンス
	教授 山口 清次	ライフサイエンス
	教授 山口 清次	ライフサイエンス
	准教授 堀江 良一	ライフサイエンス
	教授 森田 栄伸	ライフサイエンス
	教授 塩飽 邦憲	ライフサイエンス
	教授 塩飽 邦憲	ライフサイエンス
	教授 塩飽 邦憲	ライフサイエンス
	教授 内尾 祐司	ライフサイエンス
	教授 塩飽 邦憲	ライフサイエンス
	教授 塩飽 邦憲	ライフサイエンス
	准教授 橋本 道男	ライフサイエンス
	准教授 橋本 道男	ライフサイエンス
	教務職員 内田 幸司	ライフサイエンス
	教授 塩飽 邦憲	ライフサイエンス
	医学部附属病院 (9件)	准教授 花田 英輔
助教 石橋 豊		ライフサイエンス
准教授 花田 英輔		情報通信
助教 石橋 豊		ライフサイエンス
病院長 小林 祥泰		ライフサイエンス
准教授 花田 英輔		情報通信
臨床検査技師長 柴田 宏		ライフサイエンス
助教 石橋 豊		ライフサイエンス
臨床検査技師長 柴田 宏		ライフサイエンス
総合理工学部 (24件)	教授 土屋 敏章	ナノテク・材料
	教授 奥村 稔	環境
	准教授 田中 秀和	ナノテクノロジー・材料
	講師 廣富 哲也	情報通信
	教授 和田 英治	その他
	教授 岡本 覚	製造技術
	准教授 藤田 恭久	ナノテクノロジー・材料
	講師 加藤 定信	ライフサイエンス
	准教授 長谷崎 和洋	ナノテクノロジー・材料
	准教授 藤田 恭久	ナノテクノロジー・材料
	教授 石賀 裕明	ナノテクノロジー・材料
	准教授 田中 秀和	ナノテクノロジー・材料
	准教授 長谷崎 和洋	ナノテクノロジー・材料
	教授 土屋 敏章	情報通信
	教授 臼杵 年	製造技術
教授 石賀 裕明	環境	
教授 石賀 裕明	環境	
准教授 中井 毅尚	環境	

	教授 土屋 敏章	ナノテクノロジー・材料
	教授 奥村 稔	環境
	准教授 長野 和雄	環境
	准教授 長野 和雄	ナノテクノロジー・材料
	教授 澤田 順弘	環境
	教授 臼杵 年	製造技術
生物資源科学部 (27件)	教授 佐藤 利夫	環境
	准教授 松崎 貴	ライフサイエンス
	准教授 増永 二之	環境
	教授 野中 資博	社会基盤
	准教授 石井 将幸	
	教授 長束 勇	製造技術
	教授 青木 宣明	ライフサイエンス
	教授 板村 裕之	ライフサイエンス
	助教 上野 誠	ライフサイエンス
	准教授 松崎 貴	ライフサイエンス
	教授 片桐 成夫	その他
	准教授 松本 真悟	ライフサイエンス
	助教 上野 誠	ライフサイエンス
	教授 長束 勇	社会基盤
	准教授 松崎 貴	ライフサイエンス
	教授 喜多 威知朗	環境
	准教授 青柳 里果	ナノテクノロジー・材料
	助教 上野 誠	ライフサイエンス
	教授 佐藤 利夫	環境
	准教授 谷野 章	エネルギー
	講師 伴 琢也	ライフサイエンス
	教授 相崎 守弘	環境
	准教授 松崎 貴	ライフサイエンス
	教授 青木 宣明	その他
	准教授 一戸 俊義	その他
	教授 長束 勇	製造技術
	教授 片桐 成夫	環境
准教授 松崎 貴	ライフサイエンス	
産学連携センター (4件)	教授 中村 守彦	ライフサイエンス
	講師 丹生 晃隆	その他
	教授 北村 寿宏	ナノテクノロジー・材料
	教授 北村 寿宏	環境
総合科学研究支援センター (3件)	助教 吾郷 昭夫	ライフサイエンス
	准教授 山田 高也	ライフサイエンス
	准教授 山田 高也	ライフサイエンス

特許

1. 「特許出願件数・特許登録件数」

	平成19年度	累計
特許出願件数	28件	131件
特許登録件数	6件	20件

2. 「公開特許」

項番	公開番号	発明の名称
1.	特許公開 2008-100907	吸着用木炭の製造方法
2.	特許公開 2008-029811	毛成長調節方法及びその装置
3.	特許公開 2008-001962	耐酸化材料及び耐酸化材料の製造方法
4.	特許公開 2008-000129	形質転換イネ, 血圧降下をもたらす米, および, イネ用ベクター
5.	特許公開 2007-326768	KFを含有するチタン酸バリウム系圧電体またはその製造方法
6.	特許公開 2007-307090	内視鏡, 内視鏡アタッチメント, および, 内視鏡装置
7.	特許公開 2007-245327	切削用チップおよび切削工具, 並びに切削用チップの作製方法
8.	特許公開 2007-236350	脳卒中を発症しにくいSHRSP系ラット
9.	特許公開 2007-229271	生体組織接着性医療器具
10	特許公開 2007-229270	生体組織接着装置
11	特許公開 2007-216192	ヘドロ処理方法
12	特許公開 2007-195571	骨接合用骨製ネジ
13	特許公開 2007-156857	対話型インターフェース方式および対話型インターフェース用プログラム
14	特許公開 2007-153736	安定化ジルコニア繊維製造方法, および, 安定化ジルコニア繊維
15	特許公開 2007-118152	ブローチ加工装置
16	特許公開 2007-117099	グルタミン酸脱炭酸酵素, グルタミン酸脱炭酸酵素をコードするDNA, グルタミン酸脱炭酸酵素が発現可能な形態で導入された微生物, グルタミン酸脱炭酸酵素の製造方法, および, トランスジェニック植物
17	特許公開 2007-054256	被処理液のウィルス失活方法
18	特許公開 2006-345784	濾過食性二枚貝の飼育方法, 濾過食性二枚貝の飼育システム, 濾過食性二枚貝を用いた汽水の浄化方法, および, 濾過食性二枚貝を用いた汽水の浄化システム

19	特許公開 2006-334704	マイクロミリングシステムの制御方法
20	特許公開 2006-334703	マイクロミル
21	特許公開 2006-308433	土壌水移動速度導出方法および土壌水移動速度測定装置
22	特許公開 2006-303427	熱電半導体材料の製造方法
23	特許公開 2006-254795	アスパラギン酸脱水素酵素, アラニン脱水素酵素, L-アスパラギン酸製造方法, および, D-リンゴ酸製造方法
24	特許公開 2006-239825	立旋盤
25	特許公開 2006-231476	チャック
26	特許公開 2006-230097	独立系電源装置および制御方法
27	特許公開 2006-225442	蛍光性ジアザアントラセン類および蛍光性ジアザアントラセン類合成方法
28	特許公開 2006-212019	植物を用いたユビキノン-10の製造方法
29	特許公開 2006-205096	塩類を含む土の除塩方法
30	特許公開 2006-175130	骨接合術用具
31	特許公開 2006-147866	炭化珪素薄膜の成膜方法
32	特許公開 2006-126083	即時型小麦アレルギーの診断方法
33	特許公開 2006-094803	T-RFLPをもちいた微生物群集構造の解析方法
34	特許公開 2006-076866	シリカ多孔体結晶の製造方法
35	特許公開 2006-075815	脱窒脱リン用成型体及び汚水・排水の脱窒脱リン処理方法
36	特許公開 2006-064413	比熱および熱伝導率の測定方法。
37	特許公開 2006-061063	脱色活性を有するペルオキシターゼ, 当該ペルオキシターゼをコードするDNA, 当該ペルオキシターゼが発現可能な形態で導入された微生物, および, 脱色剤の製造方法
38	特許公開 2006-028086	クエルセチン3-O-(6-O-マロニル)グルコシドを有効成分として含む医薬組成物およびクエルセチンマロニルグルコシドを含有する食品
39	特許公開 2006-025867	手術用縫合糸
40	特許公開 2005-306632	ゼオライトの合成方法
41	特許公開 2005-176748	後作植物判定方法および植物の連続栽培方法
42	特許公開 2005-060145	酸化亜鉛超微粒子および酸化亜鉛超微粒子の製造方法
43	特許公開 2005-000326	トレッドミルおよびトレッドミルの使用方法。
44	特許公開 2005-000091	根菜類の水耕栽培法
45	特許公開 2004-290069	グルタミン酸脱炭酸酵素, グルタミン酸脱炭酸酵素をコードするDNA, グルタミン酸脱炭酸酵素が発現可能な形態で導入された微生物, グルタミン酸脱炭酸酵素の製造方法, および, トランスジェニック植物
46	特許公開 2004-285127	炭製造方法および炭
47	特許公開 2004-276228	酸素富化による雰囲気制御切削方法及び切削工具

48	特許公開 2004-267140	水耕栽培方法
49	特許公開 2004-264902	セッション開始方法, アイコン画像作成装置, セッション開始プログラムおよびアイコン画像作成プログラム
50	特許公開 2004-243183	溶媒抽出方法および遠心管
51	特許公開 2004-231500	チタン酸バリウム結晶, コンデンサ, 光スイッチおよびFRAM
52	特許公開 2004-112882	突入電流抑制方法
53	特許公開 2004-091315	二酸化チタン繊維製造方法, 二酸化チタン繊維, ジルコニア繊維製造方法, および, ジルコニア繊維
54	特許公開 2004-089097	グルタミン酸脱水素酵素, グルタミン酸脱水素酵素をコードするDNA, グルタミン酸脱水素酵素が発現可能な形態で導入された微生物, および, グルタミン酸脱水素酵素の製造方法
55	特許公開 2004-040054	酸化亜鉛系薄膜の成長方法
56	特許公開 2003-177106	物質構造の精密構造解析方法, プログラム, システムおよび物質の製造方法
57	特許公開 2003-064207	多孔質材料表面を親水性化する乾式表面処理方法
58	特許公開 2003-054926	吸着用木炭の製造方法
59	特許公開 2003-046149	熱電変換材料の製造装置
60	特許公開 2003-041048	ポリエチレンテレフタレートの処理方法
61	特許公開 2002-223010	熱電変換材料製造方法及びその装置
62	特許公開 2002-178240	被削材の切削時の工具刃先温度の測定方法及びその装置
63	特許公開 2000-058453	微細素子の形成方法及びその装置

平成19年度 産学連携センター及び産学連携活動の報道・主な記事

日付	誌名	見出し	内容
4/ 1	中小企業振興	地域経済活性化の有力な手段に 中小企業産学官連携フォーラム “日本型”の方向探る	本センター専任教員北村寿宏教授が 地域事例発表及びパネリストを勤め た
6/ 1	山陰中央新報	地域技術革新考えるシンポ参加 者募集	「地域イノベーション創出 2007in しまね」の開催案内及び参加者募集
6/ 6	山陰中央新報	高純度の多糖類 βグルカンの製造販売本格化	産学連携(共同研究)による事業化商 品「βグルカン」について ・本格製造販売
6/ 8	山陰中央新報	地域イノベーション創出 産学官連携へ議論	当センターの北村寿宏教授が、島根 県における産学官連携の取組事例発 表を行った「地域イノベーション創 出 2007in しまね」の開催について
6/12	日本経済新聞	商工中金 産学連携への融資拡大	商工中金(本センターと産学連携で 協定)が中小企業と大学との産学連 携事業への融資を増額
7/ 5	山陰中央新報	すごい!! 遠隔通信医療	県立益田高校(文部科学省スーパー サイエンスハイスクール指定校)が 地域医学共同研究部門を訪問し、映 像と音声を組み合わせた双方向遠隔 通信システムの仕組みなど産学連携 の成果を学んだ
7/12	科学技術振興 機構報	平成19年度シーズ発掘試験 採択課題	本センター(島根県コーディネータ を含む)コーディネータがコーデ ィネートし9件採択された
9/ 4	西日本 MOT コ ンソーシアム メールマガジ ン	しまね地域MOTセミナー (松江)	本センター主催のセミナー「中小企 業の新事業創出に役立つMOT」の 紹介
9/25	山陰経済ウイ ークリー	増える大学発ベンチャー企業 地方大学の生き残り競争も投影	経済産業省が取り纏めた「大学発ベ ンチャー企業」の記事に産学連携(共 同研究)による事業化商品「βグルカ ン」、「触覚ディスプレイ」の紹介
9/25	山陰中央新報	産学連携セミナー 木炭と住環境を考える	本センター共催のセミナー「木炭と 住環境を考える」の紹介

10/ 1	中小企業振興	福井で一日中小企業庁 来年度施策など説明	本センター客員教授中村俊郎氏が 「世界へ地域からの挑戦」をテーマ にしたパネルディスカッションにパ ネリストとして参加
10/ 1	中小企業振興 機構	イノベーション・ジャパン 研究成果に熱い視線	本センターから出展し本学のシーズ 等を紹介
10/15	協同組合 島根県鐵工会	島根県産業技術センター所長に 就任しての思いと独り言	本センター客員教授吉野勝美氏が島 根県産業技術センター所長に就任す るに当たってのインタビュー
10/22	中国経済産業 局メールマガ ジン	「21世紀出雲産業見本市2007」 開催	本センター長久保衆伍教授が実行委 員会委員長として参画し、本センタ ーから出展し本学のシーズ等を紹介 した
10/23	山陰経済ウイ ークリー	統合控える政府系金融機関	本センターと産学連携で協定を締結 している国民生活金融公庫と中小企 業金融公庫は農林漁業金融公庫の3 行で合併することとなり、より一層 の産学連携が望める
10/30	山陰経済ウイ ークリー	産学官連携の懸け橋に	本センター専任教員丹生晃隆講師の インタビュー
11/ 1	中小企業振興	産学連携で成功50事例 中小企業総合展 フォーラムで 発表	本センター専任教員北村寿宏教授が 成功事例の発表を行った
11/ 6	山陰経済ウイ ークリー	建設工事用の砕石を加工 岩盤浴用の石材開発	産学連携(共同研究)による事業化商 品「ステラ三星石」の紹介
11/ 8	山陰中央新報	新技術10種類東京でPRへ	本学、鳥取大学及び両県産業技術セ ンターが科学技術振興機構との共催 で「鳥取・島根初新技術説明会」を 合同で東京都内で初めて行う開催案 内
11/ 9	日経産業新聞	医新薬新 骨の健康に迫る 骨をスピード再生	産学連携(共同研究)による開発品 「骨ネジ」の紹介
11/15	中小企業振興	中小企業総合展(東京)に3万5 700人 510社が自信作をPR	

11/15	JST 産学官連携マガジン	12月7日「鳥取・島根発 新技術説明会」開催 医療・健康, ものづくり, 材料分野の10の新技術が集結	本学, 鳥取大学及び両県産業技術センターが科学技術振興機構との共催で「鳥取・島根初新技術説明会」を合同で東京都内で初めて行う開催案内
11/17	山陰中央新報	新事業創出大賞 調湿木炭製造技術開発を評価	産学連携(共同研究)による事業化商品「炭八」が第二回ニッポン新事業創出大賞アントレプナー(起業化)部門で優秀賞を受賞した
11/20	山陰中央新報	β-グルカン臨床試験始まる	大学発ベンチャー(アルプロン製薬)が産学連携(共同研究)による事業化商品)β-グルカンの臨床試験を医学部で実施する
11/27	山陰経済ウィークリー	第二回ニッポン新事業創出大賞 出雲カーボン石飛社長が企業化部門優秀賞を受賞	産学連携(共同研究)による事業化商品「炭八」が第二回ニッポン新事業創出大賞アントレプナー部門で優秀賞を受賞した
11/27	山陰中央新報	島根の特殊鋼刃物研究開発に助成金 経産省	本学及び県内企業などのグループによる「特殊鋼」を用いた高性能刃物の研究開発事業が経済産業省の「地域資源活用型研究開発事業」に採択された
11/28	日本経済新聞	機能性多糖類の健康食品を開発 アルプロン製薬	大学発ベンチャー(アルプロン製薬)が産学連携(共同研究)による事業化商品β-グルカンを使用した製品を開発
12/ 1	中小企業振興	新事業創出全国フォーラム in 新潟 広がる連携の輪 地域資源をキーワードに	産学連携(共同研究)による事業化商品「炭八」が第二回ニッポン新事業創出大賞アントレプナー部門で優秀賞を受賞した
12/18	山陰経済ウィークリー	転換期の建設業 異業種参入 成功のカギは何?	
1/ 1	山陰経済ウィークリー	松江高専公開講座地域産業論 「若者が地域を開く」	本センター客員教授片岡勝氏の講義内容の紹介
1/22	山陰経済ウィークリー	松江高専公開講座地域産業論 「知財を活かした地域振興施策」	本センター客員教授出川通氏の講義内容の紹介

1/29	山陰中央新報	渋沢賞に中村社長 義肢装具技術国内外に貢献	本センター客員教授中村敏郎氏が埼玉県が選出する「渋沢栄一賞」に選ばれる
2/ 5	山陰経済ウイ ークリー	松江高専公開講座地域産業論 「身近なアイデアから新技術の 創生, 事業家と起業」	本センター客員教授吉野勝美氏の講 義内容の紹介
2/19	山陰経済ウイ ークリー	松江高専公開講座地域産業論 パネルディスカッション 「島根の産業振興と松江高専」	本センター客員教授出川通氏の講義 内容の紹介
2/21	山陰中央新報	地域づくりそ総務大臣表彰 団体でしまねOSS 個人・中村 ブレイス社長	本センター専任教員丹生晃隆講師が 事務局長を勤める「しまねオー プン・ソース・ソフトウェア」が団体 賞、本センター客員教授中村敏郎氏 が個人表彰された紹介
2月号	中小企業かご しま	調湿木炭「炭八」の開発	本センター専任教員北村寿宏教授が 中小企業に届く産学連携事例として 産学連携(共同研究)による事業化商 品「炭八」を紹介

産学連携センター地域産業共同研究部門 研究設備の紹介

産学連携センター地域産業共同研究部門は平成19年現在で下記の実験装置を常置機器として設置しております。

1. 原子間力／磁気力顕微鏡（図1）

物質の表面および磁気構造を高分解能で観察する装置です。大気中観察タイプで観測できる試料サイズは100φ×10mmの大きさまで。また、金属、半導体、有機物など対象を選ばず観測できます。観察最大範囲は100×100μmです。



「図1」原子間力／時きり期顕微鏡

2. 走査型電子顕微鏡（図2）

物質の表面構造を高分解能で観察する装置です。観察有効倍率約5万倍。現在までのところ、産学連携センター地域産業共同研究部門は表面を金などでコーティングするための蒸着装置やスパッタ装置を持っておりませんので、絶縁物の観察は、あらかじめコーティングをご自分でお願ひします。

3. 分光光度計（図3）

物質の反射率および透過率を測定します。測定波長範囲は、近紫外から可視領域。

4. 高速液体クロマトグラフィ（図4）

物質の分子構造を解析する装置です。

5. レーザー変位計（図5）

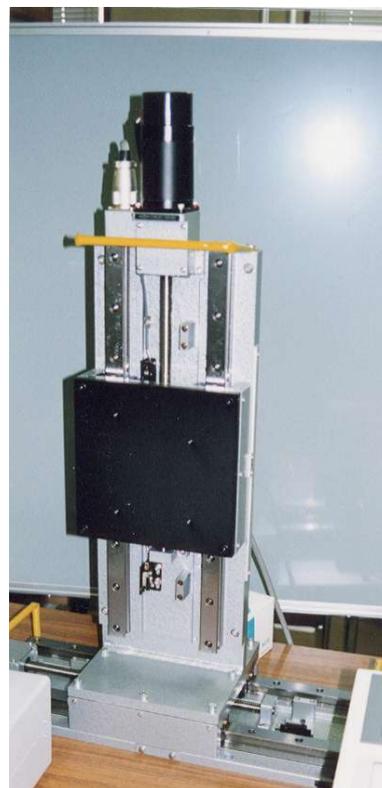
物質の表面形状を、レーザーを用いて精密に測定する装置です。



(図2) 走査型電子顕微鏡



(図3) 分光光度計



(図5) レーザー変位計



(図4) 高速液体クロマトグラフィ

島根大学産学連携センター（松江地区）
平成19年度年報 通巻第12号

2008年12月 発行

編集 島根大学産学連携センター（松江地区）
〒690-0816 松江市北陵町2番地
TEL:0852-60-2290, FAX:0852-60-2395
E-mail: crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
URL <http://www.crc.shimane-u.ac.jp/>